

地域まちづくり活動の人材育成のあり方について

■ 『課題に対する対応策の提案』 に関する集計結果【抜粋】

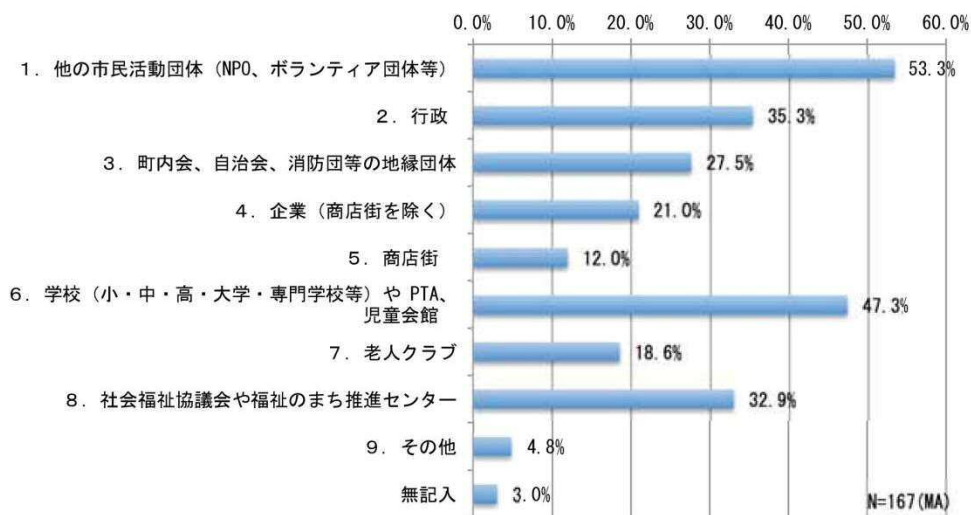
(1) 一定のスキルを有すると認定される人材の活用システムの検討

- ・ 団体の連携促進にもっとも必要なことは、各種団体同士をつなぐコーディネートやコミュニケーション力が挙げられている。

問 11-4 貴団体は今後どのような団体と連携したいですか？（あてはまるものすべてに○）

※問 11-で「2. 連携したいが行っていない」とした回答のみを母数とする(167)

問11-4 どのような団体と連携したいか

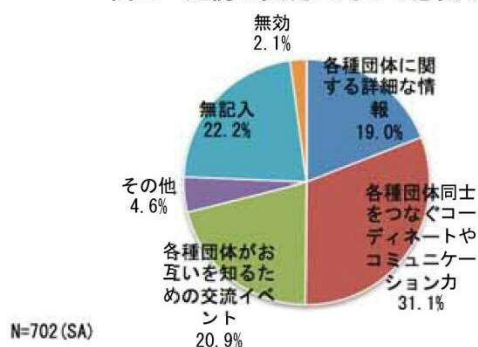


問 12 様々な団体の連携を促進あるいは実現するためには何が必要と考えますか？

（1つだけ選んで○）

連携促進・実現のために必要なことについては、「各種団体をつなぐコーディネートやコミュニケーション力(31.1%)」が最も多く、次いで「各種団体がお互いを知るための交流イベント(20.9%)」、「各種団体に関する詳細な情報(19.0%)」で、平成 25 年度調査とほぼ同様の傾向となった。

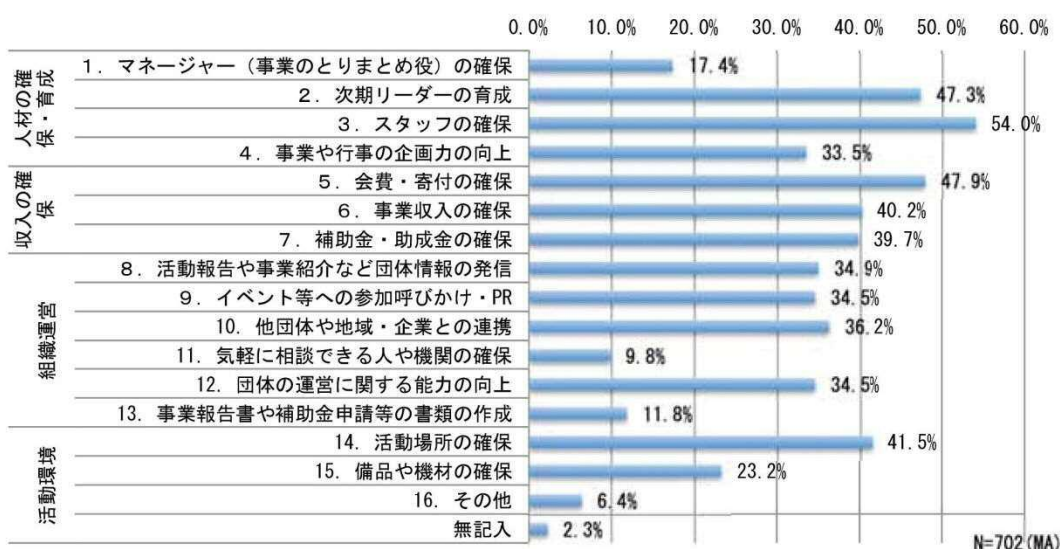
問12 連携の実現に向けて必要なこと



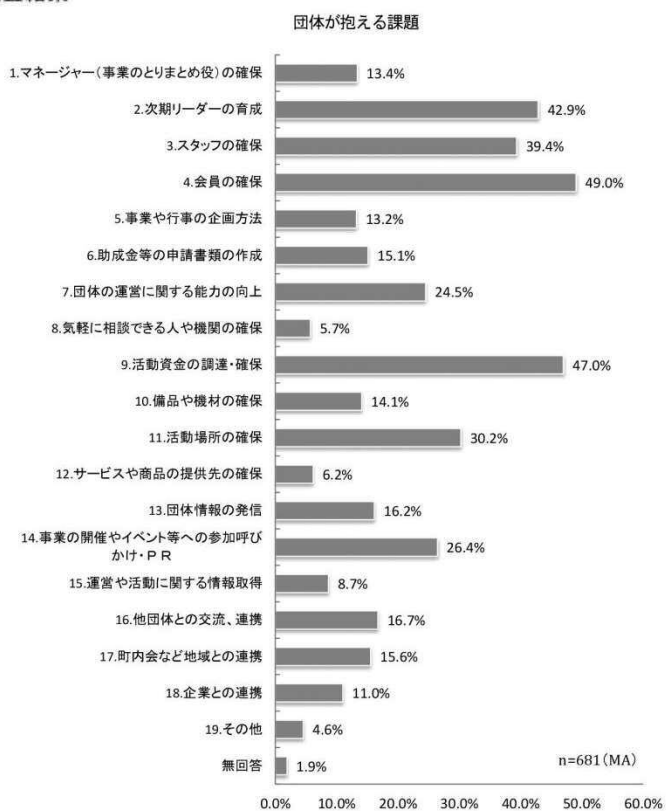
(2) 実践をつうじて団体の人材を育成するプログラムの検討

- ・団体の抱える課題として、スタッフの確保、会費・寄付の確保、次期リーダーの育成が挙げられている。

問4 団体が抱える課題



H25 年度調査結果



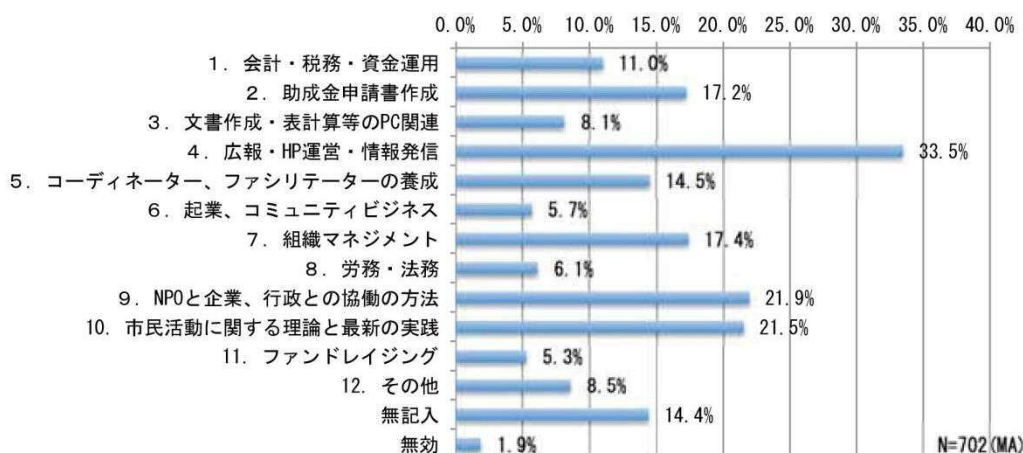
(3) 様々な機関と連携し学習ニーズにあった人材育成のための学習機会の充実

- ・ 受講したい講座・研修として、第一に「広報・PR 運営・情報発信」、次いで「NPO と企業、行政との協働の方法」、「市民活動に関する理論と最新の実践」が挙げられる。

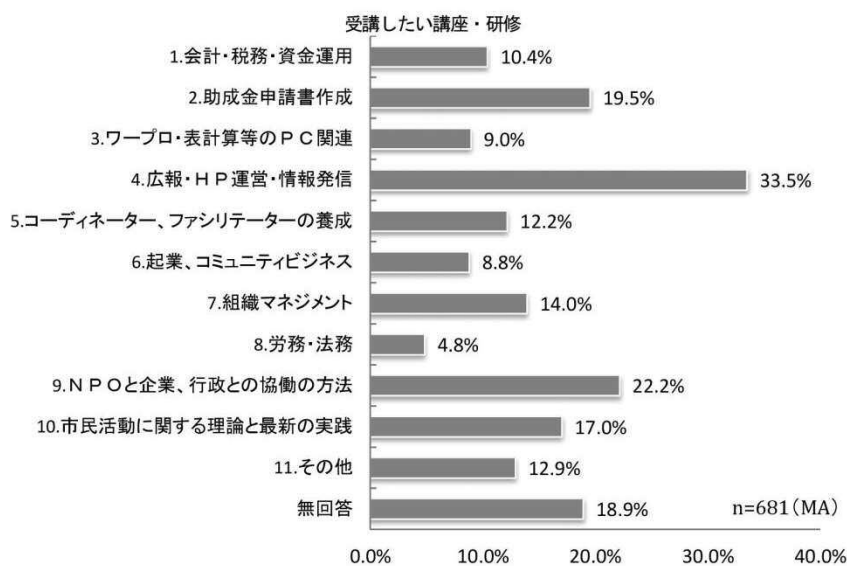
問8 どのようなテーマの講座・研修を受講したい（受講させたい）ですか？（3つまで選んで○）

受講したい（させたい）講座・研修については、「広報・HP 運営・情報発信（33.5%）」が最も多く、次いで「NPO と企業、行政との協働の方法（21.9%）」、「市民活動に関する理論と最新の実践（21.5%）」で、平成 25 年度調査とほぼ同様の結果となった。

問8 受講したい講座・研修



H25 年度調査結果



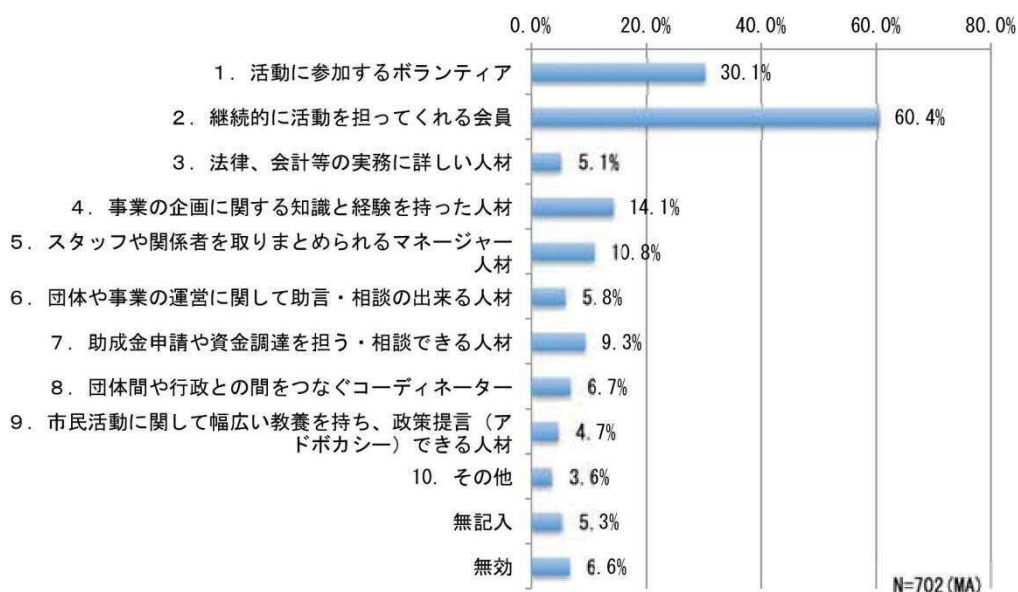
(4) ご近所ちよいボラ登録制度の検討

- ・ 団体が必要とする人材は、第一に「継続的に活動を担ってくれる会員」、次いで「活動に参加するボランティア」が挙げられる。

問7 貴団体ではどのような人材を必要としていますか？(2つまで選んで○)

必要とする人材についての回答で最も多かったのは「継続的に活動を担ってくれる会員(60.4%)」、次いで「活動に参加するボランティア(30.1%)」で、平成25年度調査とほぼ同様の結果となった。

問7 必要とする人材



H25 年度調査結果

必要な人材

